

海外療養費制度のご案内

【海外療養費】とは、国民健康保険に加入されている方が、海外渡航中の急病やケガで治療を受け医療費を支払った場合、帰国後、申請により保険給付を受ける制度です。

1. 保険診療の対象について

海外で受けた医療行為自体が日本国内において認められた医療行為であり、かつ、日本国内の保険診療の範囲内となります。

(次の場合は対象外です)

- 歯のインプラント治療、臓器移植、人工授精等の不妊治療、性転換手術、美容整形など
- 治療目的で海外渡航した場合や、交通事故やけんかなど第三者による行為や不法行為に起因するケガ など

2. 申請の方法

- ① 海外で治療を受ける際、診療報酬明細書および領収明細書を現地の医師に記入して頂いてください。一月毎、医療機関毎に作成が必要です。同じ月に入院と通院がある場合はそれぞれ作成してください。これらの書類が外国語で作成されている場合、日本語の翻訳文も必要です。
(必要な書類は市役所保険年金課に用意してあります。渡航時にお持ちください。)

- ② 帰国後、「①の書類」、「医療機関の発行した領収書(原本)」、「治療を受けた方のパスポート」、「調査に関わる同意書」、「世帯主の印鑑(朱肉で押すもの)」、「世帯主の口座番号」、「世帯主及び本人の個人番号(マイナンバー)を確認できるもの」を持参し、市役所保険年金課で申請を行ってください。

3. 支給額・支払いについて

治療にかかる費用は各国によって異なります。海外療養費の額は、日本国内で同様の病気やけがをして国民健康保険で治療を受けた場合を基準にして算定します。支給額は支給決定日の為替レートで計算します。

★実際の医療費が、日本国内の医療費より低い場合

$$\text{支給額} = \text{実際の医療費} - (\text{実際の医療費} \times \text{一部負担割合※})$$

★実際の医療費が、日本国内の医療費より高い場合

$$\text{支給額} = \text{日本国内の医療費} - (\text{日本国内の医療費} \times \text{一部負担割合※})$$

※一部負担割合・・・一般⇒3割、未就学児⇒2割、70歳～74歳⇒2割(1割)又は3割

(申請から支給まで2～3か月かかります。審査の結果、支給されない場合もあります。また、申請内容確認のため現地の医療機関に電話又は文書による問い合わせを行う場合があります。)

注1) 渡航期間中も国民健康保険の資格が継続するので国民健康保険税の課税も継続します。

注2) 請求(申請)の時効は医療費を支払った翌日から起算して2年です。

◆ 問い合わせ先 ◆

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

蒲郡市役所 保険年金課 国民健康保険(給付)担当 (TEL 0533-66-1103)